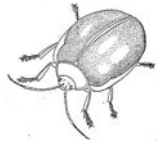


# たんぽう



## ハナノハナノミを兵庫県宝塚市で採集

牧田 習

筆者は、兵庫県下の記録が少ないと思われるハナノミ *Mordellaria hananoi* を採集したので報告する。



1ex., 兵庫県宝塚市玉瀬武田尾, 11.VII.2013

林道にあるネムノキの枯死部を網を下に受けて叩いてみると、コクワガタ *Dorcus rectus* などと共に得られた。同定をしていただいた大阪市立自然史博物館の初宿成彦学芸員に厚くお礼申し上げます。

(Syu MAKITA 宝塚市)

## シロスジコガネを淡路市内で確認

澤田 佳宏

シロスジコガネ *Polyphilla albolineata* は、多くの産地で減少傾向にあり(梶, 2013), 兵庫県版レッドデータブック 2012(兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課, 2012)ではBランクに指定される希少種である。県内の産地は限られており、淡路島内では南あわじ市でしか分布が知られていなかったが(兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課, 2012), このたび、筆者は淡路市内の大阪湾沿岸で本種を確認したので報告する。

まず2013年6月14日午前1時30分ごろ、淡路市久留麻の国道28号線沿いにあるマンション玄関にて、メス1個体を確認した(写真1)。マンションの街灯に誘引されたものと思われる。前日から確認時までの天候は晴れであった。写真を撮影してから捕獲したが、翌朝、採集地点近隣の海浜で放した。



写真1 シロスジコガネ(メス)。2013年6月14日、淡路市久留麻



写真2 シロスジコガネ(メス)。2013年6月15日、淡路市久留麻

翌 2013 年 6 月 15 日午前 2 時ごろ, 同じマンションの玄関でメス 1 個体を再び確認し, 写真を撮影した(写真 2). 採集はしなかった. この日も日中から夜にかけて晴天であった. 写真をもとに前夜の個体と比較したところ, 前翅の模様のちがいがから, 別個体と考えられた.

本種は, 十分な広さのある砂浜とマツ林のある海岸に生息し(岡島・荒谷監修, 2012), 幼虫は砂地に生息するという(槐, 2013). 今回の確認地点から最も近い海浜は, 北東へ約 600m の場所であり, この海浜にはコウボウムギ, コウボウシバ, ハマヒルガオ, ハマボウフウなどからなる海浜植生が成立しているがマツ林は見あたらない. また, 南へ約 1200m の場所にも海浜があり, こちらには小規模ながらもクロマツ植林がみられる. 今回確認された 2 個体は街灯に誘引されたものと思われるため, 生息場所(発生場所)は特定できていない. 今後, 近隣の海浜等で観察する必要がある. 筆者はこのマンションに 2007 年より住んでいるが, シロスジコガネに気付いたのは今回がはじめてであった.

#### ○参考文献

- 槐 真史 編, 2013. 日本の昆虫 1400 ②トンボ・コウチュウ・ハチ. 文一総合出版, 319pp.
- 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課, 2012. 兵庫県版レッドデータブック 2012(昆虫類). (財)ひょうご環境創造協会, 72pp.
- 岡島秀治・荒谷邦雄 監修, 2012. 日本産コガネムシ上科標準図鑑. 学研教育出版, 444pp.

(Yoshihiro SAWADA 兵庫県立大学大学院  
緑環境景観マネジメント研究科)

#### タケウチトゲアワフキを佐用町昆虫館で撮影

向井 苑子

タケウチトゲアワフキは, シナノキ・オオバボダイジュ・ヘラノキを寄主とする特徴的な形態をもつアワフキムシです. 通常アワフキの幼虫は泡を作ってその中に隠れますが, トゲアワフキの仲間は, 泡の代わりに, 筒状の巣を作り, その中に住んでいます. 筆者は佐用町昆虫館で本種を撮影することができたので報告します.

2012 年 5 月 20 日, 2 個体撮影, 他に 3 個体目撃. 交尾中のものも.

2013 年 5 月 26 日, 1 個体撮影, 他に 2 個体目撃.

2013 年 6 月 23 日, 1 個体撮影, 他に 1 個体目撃.



写真 1 2012 年 5 月 20 日, 佐用町昆虫館



写真 2 2012 年 5 月 20 日, 佐用町昆虫館



写真 3 2013 年 5 月 26 日, 佐用町昆虫館